

LPG新時代のユニークな情報紙

石油ガス・ジャーナル

News
Letter毎月第1週には石油ガス関係のデータ記事
（DATA BANK）を掲載します。発行所／石油ガス・ジャーナル株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-14 宇田川ビル3F
TEL.03(5157)8336 FAX.03(3581)5554
http://www.sekiyugasu-janaru.jp

2021年9月24日 金曜日 第1731号

料金透明化、取引適正化徹底は可能

—不動産業者によるLPガス料金情報開示で高まる期待—

経済産業省、国土交通省が所管するLPガス業界団体、賃貸住宅関連団体への6月1日付け通知文書「賃貸集合住宅におけるLPガス料金の情報提供のお願い」に対し、従来の慣習が是正されると、消費者団体や一部LPガス業界の期待が高まっている。(社)全国消費者団体連絡会（消団連）が8月5日開催した「LPガス取引透明化問題に関する学習会」でも、不動産業者に取扱物件のLPガス料金等やLPガス事業者名・連絡先を情報提供するよう要請したことを一つの潮目として、これを徹底できるよう官民関係者の更なる活動の強化を訴える声が挙がった。また、現

在開催中の(財)エルピーガス振興センター主催の地方LPガス懇談会でも、料金透明化・取引適正化の期待は従来に比べ高まっていることがうかがわせる発言が多数聞かれる。関係者に今後の有効な取組みについて聞いた。

●消費者「適正化実現まで継続的検討が必要」、
一部業界「LP・不動産は将来に繋がる投資を」

8月5日の消団連の学習会で賃貸住宅問題等をテーマに講演した橋爪優文・資源エネルギー庁LPガス担当企画官は、不動産オーナー・管理会社の無償貸与（贈与）問題の影響として①LP

Gas One サミット

サイサン「カーボンニュートラル挑戦！」

(株)サイサンは16日、「Gas One サミット 2021」を都内のホテルで開催した。今年度のスローガンに「カーボンニュートラルへの挑戦！」を掲げ、川本武彦社長はその達成時期を5年前倒し、「創業100周年の年」と宣言。ウォーターワン（宅配水）顧客11万件達成、LPWAによる集中監視への参加募集、保安高度化プログラム、ダイバーシティへの対応、職域接種全国1,500人の完了、SDGsの具体的な取り組み公表などを報告した。



小売電気事業「エネワンでんき」は、「カーボンニュートラルでんき」と「エネワンEプラン」の開始を発表。前者は再エネ由来の非化石証明により実質CO₂フリー電気を使用でき、後者は東京電力管内でのエコキュート、電気温水器使用者への夜間割引電気料金を提案するプラン。



左から川本知彦副社長、トーク
ショーの泉ピン子、川本社長

ガス事業者が多くの製品費用を負担した場合、その物件の料金が高騰する。入居者(消費者)は後に料金に不満があっても受け入れるしかない→消費者の選択肢が事実上ない②オーナー側からの設備費用負担要求に応えられないLPガス事業者は、契約解除となり他の事業者が供給権を得る→消費者の利益に繋がらない競争が歪みを生じさせている一として、消費者にはこのような商慣習が物件やLPガスへの不信感となり、LPガス離れの一つの要因となることを指摘した。また、橋川武郎・国際大学副学長は6.1通知を評価する一方、その徹底方法として、①三部料金制の普及拡大②大手住宅メーカーの積極的な対応一を挙げた。川原敬伸・北海道生活協同組合連合会(北海道生協連)専務理事スタッフは、三部料金制の導入や制度に法的拘束力を与えることを提言し、消団連からも事業者と消費者の対話機会を増やし解決を図ることが提案された。北海道LPガス地方懇談会で川原氏は、消費者・事業者の対話機会を増やすことの重要性について触れ、自ら仲介を務めるとまで発言している。橋爪氏は本紙取材に対し、6.1通知の徹底について「当然、末端の不動産業者が情報提供しているかフォローアップしていくつもり」とした。一方、ガス料金水準を基本に贈与設備を受け取らないとしていた大手住宅メーカー・



橋爪氏

橋川氏

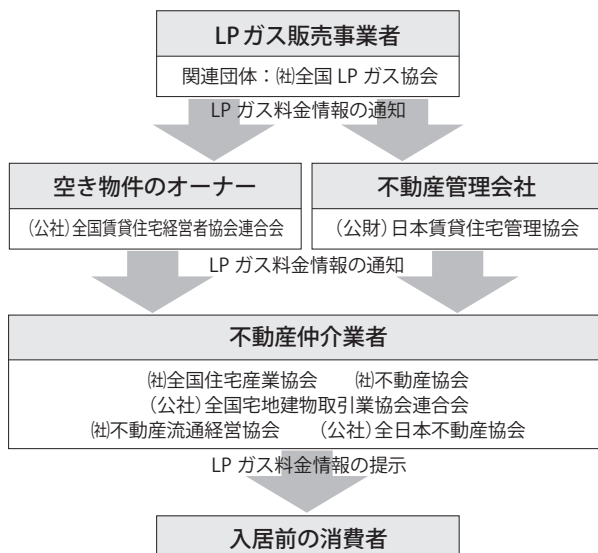
並木氏

高井氏

レオパレスの動きも殆ど聞こえなくなった。三部料金制を徹底するための料金体系の法規定はハードルが高く、エネ庁、国交省に新たな対応を期待する声もあがり始めている。先の学習会を主催した並木静香・消団連事務局次長は「今回、(社)全国LPガス協会の協力で参加者も前回に比べ増えた。今後も業界と共に是正できるような取組みを続けたい」とした。ただ、自らの活動の強化については「消費者団体の数は多いが、殆どが高齢化などで弱体化している」として、業界団体との協働などが不可欠な状況となっていることをうかがわせた。

LPガス業界で賃貸集合住宅問題に長きにわたり是正を求めてきた高井宏康・新日本ガス(株)会長は、「LPガス業界、特に大手事業者による賃

賃貸集合住宅のLPガス料金の情報公開関連団体



注)全L協へは経産省が、他7団体には国交省が要請

LPガス料金表(例)
(令和〇〇年〇〇月現在)

(様式)

物件名称

部屋番号等：

販売事業者名

連絡先(電話番号)：

[料金内訳(月額、消費税込み)]

基本料金	： 〇〇〇円
従量料金	： 〇〇mまで〇〇〇円、〇〇m~〇〇m〇〇〇円 〇〇m~〇〇m〇〇〇円、〇〇m以上〇〇〇円
機器設備等料金 (機器設備等名〇〇〇)	： 〇〇〇円(該当がない場合は、「該当なし」と記載。)
原料費調整制度 による調整額	： 算出方法 現時点の調整額：〇〇〇円 現在の調整額については、上記連絡先へお問い合わせください。(該当がない場合は、「該当なし」と記載。)

[上記料金による使用量別料金早見表(単位：月(消費税込み))]

m	m	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0											
10											
20											
30											
40											

以上

貸物件の切替競争はもう終止符を打たなければならぬ。不動産業界も国交省からの指導に対し、是正しようという考えは全く無いように見える。消費者団体はようやく実態を把握し始めているが、不動産業界等へ働き掛けをしている話は余り聞こえてこない。状況から見れば、今LPガス業界が本気で立ち上がっても改善には何年もかかると思う。しかし、是正できなければ自ら将来の道を狭めるだけだと早急の対応の必要性を訴えた。これら指摘について、不動産業界に詳しいあるLPガス経営者は、これまでの料金問題に対する国交省指導について「関係業界紙、雑誌等で全く見たことが無い。行政の指導に対してマスメディアも含めて認識が薄いのではないか」と話した。

〈視点〉これらから、行政、LPガス業界、不動産業界、消費者団体それぞれの実態の一部が伺えるが、商慣行是正に対し、LPガス業界も一枚岩となれるのかが問われているといえる。LPガス事業の収益増への取組みは、新築・M&A・消費量アップ・燃転切替えなどがあるが、投資額の大きさ、競合エネルギー比での料金水準の高さ、営業人員・技術者の不足等の課題があり、大手事業者を中心に賃貸集合住宅でも切替えへの投資が一般化してきたと考えられる。地場中堅事業で、この種の競争から脱却しようとする事業者幹部も「オール電化の波は再び日本全土に広がる。集合住宅の料金からLPガスには“高値・不透明”のイメージがあり、より厳しい状況が想定されると思う。6.1通知は(改善の)最後

のチャンスかもしれない」と期待を託す。関係者それぞれの立場で今後どう行動すべきかが重要課題となってきた。まず、北海道生協連の川原氏が求めるように地域毎の関係者の会合を頻繁に行うことが必要であることは間違いないだろう。その際、LPガス業界からは様々な立場の事業者の参加と、不動産業界からはオーナー、管理会社、仲介業者代表が出席できるような仕掛けも必要だと考えられる。エネ庁、国交省の協力も不可欠ということだ。

企業情報

JGE トークコン中四国大会ゴールド賞 寺地・信菱液化と苺田・アサノエナジー両氏



細川取締役



工藤支店長

(株)ジャパンガスエナジー西日本支店は14日、岡山市のホテルグランヴィア岡山でオンライン・無観客・対面方式の「トークコンテスト中四国地区大会」を開いた。今年度のテーマは「頼りになります！ 快適・安心 LPガス」。8人がA会場とB会場に分かれて競った。

「オール電化住宅の停電に不安を感じているお客様にLPガスの優位性を理解してもらう」設定とし、「日々の暮らしはもちろん、災害にも強いLPガスをアピールすることでお客様との信頼を深める」ことが狙い。持ち時間は1人15分。8人は所属会社の予選会を勝ち抜き、再挑戦した人もいた。大規模自然災害を例に「平時も有事もLPガスを」とアピール。独自のボード、チラシなどを駆使しながらエネファーム、エコジョーズ、発電機を提案したほか、LPガスの安全性・コスト・快適生活などにも触れ、甲乙つけがたいトークで審査員を悩ませた。訪問時の手指消毒、退去時のテーブル除菌など細かな配慮も目立った。この結果、ゴールド賞には寺地泰志・信菱液化ガス(株)(A会場)と苺田英樹・アサノエナジー(株)(B会場)の両氏が輝き、「日常の営業活動にも活かした



○内は頁

〈企業情報〉▷JGEがVLGC新造船の傭船契約④▷新関東エース会、定例会④▷岩谷、水素燃料電池船の開発④▷東急建設がエネクスのGTL使用⑤▷リンナイ「デリシアキャンペーン」⑤▷AWハイドロ、工場に「VHR」⑤▷リンナイ、業界初の自動運転浴暖⑤
〈団体情報〉▷JLPA、バルク供給セミナー⑥▷関東高圧ガス保安大会、表彰者⑥▷秋田県協、日赤に発電機寄贈⑦▷ハタリキ100周年で100万円寄付⑦▷KHK、講習会・検定試験の料金改定⑦▷日協、LPガス保安講演会⑧▷千葉県協がWebセミナー⑧

い。11月の全国大会では更に上を目指す」と喜びを語った。閉会あいさつで細川良治・ジャパンガスエナジー取締役常務執行役員は「テーマはLPガスのレジリエンス。『どんな切り口で提案するか』『困りごと解消』『なぜLPガスが災害に強いと言われるか』『LPガスでできる快適生活』などの提案に工夫を凝らしていた。皆さんの頑張りに感謝したい」と総括した。

①開会あいさつ(工藤剛士・ジャパンガスエナジー西日本支店長)②結果発表(田中基貴・同副支店長)③ゴールド賞受賞会社あいさつ(高尾幸治・信菱液化ガス、中村和文・アサノエナジー)④講評—などもあった。

ゴールド賞以外の受賞者は次の通り(敬称略)。**【A会場】**▷シルバー賞=江口知秀・伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)▷ブロンズ賞=那須尚高・(株)ワカサ、上野永輔・山陰酸素工業(株)**【B会場】**▷シルバー賞=中島信博・(株)協同瓦斯▷ブロンズ賞=田村亨・エネロ(株)、佐藤敬祐・共和石油販売(株)



A会場ゴールド賞の寺地さん B会場ゴールド賞の苅田さん

JGEがVLGC新造船の傭船契約 LPG燃料

2023年竣工 安定供給と輸送能力強化

(株)ジャパンガスエナジーは3日、「ENEOSオーシャン(株)と大型LPG船(VLGC)の新造船定期傭船契約を締結した」と発表した。既存船を最新鋭船に入れ替え、従来同様3隻体制で臨む。新造船はLPガスのほか脱炭素の新燃料として期待されるアンモニアの運搬が可能。動力用燃料のLPガスは国際海事機構(IMO)が定めるSOx排出や2022年に強化予定のCO₂排出量規制にも適応する。

JGEは「輸送能力強化と輸入ソースの多様化を図り、LPガスの安定供給に努める」とした。

【概要】▷主要目:全長230×全幅37.2×深

さ21.9m▷タンク容量:8万6,700m³▷建造:川崎重工業坂出工場▷竣工:2023年

新関東エース会、第2回定例会 ビジネスコーチングを研修



数口支店長



平國所長

アストモスエネルギー(株)関東支店の販売店会の新関東エース会は8月31日、第2回定例会をリモート形式で開催した。冒頭、数口寿彦・関東第二支店長は「顧客との接点機会が制限される中、営業方法は多様化してきた。部下・後輩への指導も工夫が必要となっている。今年1月の定例会で好評だった“コーチング”を研修テーマに取り上げたので役立ててもらいたい」などと述べた。研修は、平國龍太・アストモスアカデミー東北所長が「WITHコロナ時代のコーチング」と題し、目標達成に向けたチームの意識・行動改革、部下に気付きを与える効果的な問いかけや傾聴、論理的思考—等分かりやすく講義した。参加者が3人1組となってロールプレイする演習も行われた。

この他にも同支店から、今年度のトークコンテストの中止に伴い「販売スキル強化」をテーマとするオンライン研修を11月に予定していることなどが報告された。

岩谷、水素燃料電池船の開発事業

大阪・関西万博で実用・PRへ

岩谷産業(株)は水素燃料電池船と船舶用ステーションの実用化に向けた開発事業について、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)に応募し、このほど採択された。テーマは「商用運航の実現を可能とする水素燃料電池船とエネルギー供給システムの開発・実証」。NEDO助成事業として、今後は関西電力(株)、東京海洋大学、(株)名村造船所とシステム開発と実証を進め、2025年大阪・関西万博での商用運航とPRに利用する。また、これまでの燃料電池車等水素ST開発の実績から船舶用の開発と実証も行う。

〔採択事業の概要〕▷事業名：燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業／燃料電池の多用途活用実現技術開発▷実施期間：2021年7月～25年2月末予定

東急建設がエネクスのGTL使用

重機用軽油比CO₂▲8.5%で採用、全国展開へ

東急建設(株)は工事現場で使用される建設用車両用に伊藤忠エネクス(株)が提供するGTL*燃料を採用することと決め、8月全国展開に向け、使用開始した**。マレーシアのロイヤルダッチシェルの子会社が製造する燃料で、国内での排出ガスのCO₂は軽油比▲8.5%となる。東急建設では脱炭素の取組みの一環として正式採用したものの、エネクスは2017年度から取扱いを開始。事業の見通しを立て、20年度に「GTL室」を設置し、本格的な活動に入っている。

* Gas to Liquids の略。天然ガス由来で環境負荷の少ない軽油代替燃料

** 使用開始した現場▷東急建設名古屋支店土木部東海環状七崎高架橋他1橋(下部工)工事業所(岐阜県本巣市)▷同東日本建築支店第一建築部 ESR 東扇島ディストリビューションセンター新築工事業所(神奈川県川崎市)

リンナイ「デリシアキャンペ」

必ずもらえるオリジナルミールキット

リンナイ(株)は1日から12月31日までの4カ月間「デリシアキャンペーン2021」を実施する。期間中、ガスビルトインコンロ「DELICIA」(デリシア)又は「DELICIA GRILLER」(デリシアグリレ)の購入者に、①オリジナルミールキット+レシピブック ②「R.STYLE」(リンナイスタイル)のクーポン5,000円分-のどちらかをプレゼントする。応募は専用サイトから。

〔キャンペーン概要〕▷期間：9月1日～12月31日／応募期間：10月4日～12月31日▷対象商品：デリシア AC100V電源タイプ、同3V乾電池タイプ、デリシアグリレ▷贈呈品：①オリジナルミールキット(みつもち豚とホクホク野菜のグリル、3種のきのこことカリフラワーのクリームスープ)+オリジナルレシピブック ②公式部品販売サイト「R.STYLE」のクーポン5,000

円分-から選択

AWハイドロ、工場に「VHR」 水素製造効率化に都市ガス改質技術

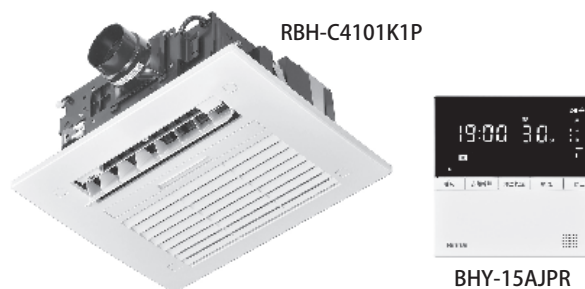
エア・ウォーター(株)グループのエア・ウォーター・ハイドロ(株)は、甲信越地方での水素ガスの安定供給体制の確立と生産能力増強を目的に、新潟県上越市の二本木工場に水素ガス発生装置「VHR」を設置する工事を8月から開始した。VHRはAWが開発した天然ガスを水蒸気改質した水素ガス発生システムで世界最高級の生産効率を誇る。都市ガスを導管供給することで、コスト削減と共に安定的な水素ガス生産が可能となる。稼働は来年4月の予定。生産能力は300Nm³/h(従来比1.3倍)を見込んでおり、水素ガス需要の増加に対応すると共に甲信越エリアでの販売拡大を図る。

新製品

リンナイ、業界初の自動運転浴暖 ヒートショック対策、99.9%カビ抑制機能

リンナイ(株)は、業界初の浴室を自動で温める温水式浴室暖房乾燥機を10月1日に発売する。日々の入浴時間を学習し、①入浴30分前に暖房運転を開始②入浴時に浴室内が30℃になるよう調整③入浴中は温度だけでなく風向きも自動制御④退室後、運転停止-と、人感センサと温度センサで優れたヒートショック対策ができる。

同社の「カビに対する意識調査」では、回答者の8割以上が浴室内のカビに悩まされていると答えている。新製品のスプラッシュミストタイプに搭載した「カビガードミスト」機能は、2週間に1度利用するだけで浴室内のカビの成長を



99.9%抑えることができるため、面倒な掃除の負担を軽減し、ラク家事に貢献する。付属のリモコンはシンプルさと機能性を両立し、音声サポート機能と操作性・視認性を向上した大画面で、高齢者にも使い易い。暖房能力は4.1kW、ユニットバス1.5坪以下。ラインアップはスタンダードタイプとスプラッシュミストタイプ、換気室数1～3室の計6種。希望小売価格は13万6,400円～28万4,900円。

組織・人事

★パロマ、人事異動<16日> ▷首都圏都市ガス営業部部長(京滋支店京都営業所所長)西田雅樹▷京滋支店京都営業所所長(大阪支店大阪営業所リーダー)廣野陽一

★伊藤忠エネクス、組織変更<10月1日> ▷産業ビジネス部門：①統括部の新燃料開発支援室を廃止②船用製品部の次世代燃料開発室を「次世代燃料開発課」に改称③環境ビジネス部に「リニューアブル燃料課」を新設④モーターソリューション部に「プラットフォーム戦略課」を新設▷電力・ユーティリティ部門：電力金融ビジネス部に「地域創生課」を新設

★三愛石油、組織改正・人事異動<10月1日> [組織改正]①「石油事業部卸売販売部」に「リテール開発課」を設置②「石油事業部卸売販売部」のSOHO支店の一部を再編。「東京第一支店」「東京第二支店」「東京第三支店」を統合し「東京支店」とする[人事異動]▷石油事業部管理課担当課長(三愛オブリガス播州(株)取締役総務部長)滝口光二▷三愛オブリガス播州取締役総務部長(三愛オブリガス播州総務部)茂木由貴子

★TOKAIホールディングス、役員人事<10月1日>▷グループM&A 管理部長、理事経営管理本部グループM&A 管理部担当鈴木秀人

団体情報

JLPA、LP ガスバルク供給セミナー 災害対策、事故事例など4科目、Web開催

(社)日本エルピーガスプラント協会は13～17の5日間、第22回「LP ガスバルク供給のためのセミナー」(共催：日本LPガス団体協議会、(社)

全国LPガス協会)をWebで実施した。4科目を午前・午後で2科目ずつ配信。近年増加する自然災害対策、バルク貯槽入替時の準備・注意事項、事故事例などについて、経済産業省ガス安全室とJLPA技術委員が講演した。

[演題・講師]▷「最近のLPガスにかかる保安行政」堀琢磨・ガス安全室室長補佐▷「容器・バルク貯槽の災害(爆発・火災・水害・地震・雪害)対策」三宮毅之 JLPA技術委員▷「バルク20年検査時のバルク貯槽入替の現状と今後の課題」亀田成由・同委員▷「バルク供給の事故例、ヒヤリハット対策」三宮・同委員



堀氏



三宮委員



亀田委員

関東高圧ガス保安大会

保安監督部長・連合会長表彰受賞者44者

関東高圧ガス保安団体連合会は、10日の開催を中止した第36回関東高圧ガス保安大会の表彰受賞者を公表した。

[関東東北産業保安監督部長表彰受賞者]▷優良製造所：(株)鈴商総合ガスセンター等7件▷優良販売業者等：(株)マルエイ横浜支店等3件▷保安功労者：山田能成(盈進商事(株))等6名▷優良製造保安責任者等：瀬戸昭一(群馬燃料(株)宝泉充填所)▷優良防災事業所：第一化成産業(株)川越工場▷優良運送事業所：西部興運(株)等2件▷優良運送従事者等：滝澤隆弘(三鱗運送(株))等2名(敬称略)

[関東高圧ガス保安団体連合会長表彰受賞者]▷優良製造所：東京ガスエネルギー(株)茨城支社日立充配センター等3件▷優良販売業者：(有)阿部商店等7件▷優良製造保安責任者：田中信太郎(株)サカエオートコムズ等4名▷優良販売主任者：古川嘉勇(古川燃料(株))▷優良防災事業所：佐藤興産(株)三橋事業本部▷優良運送業従業者：小口浩史(岡谷酸素(株)岡谷営業所)等3名▷感謝状：勝田博行(埼玉県高圧ガス団体連合会)等3名(敬称略)

秋田県協が日赤に可搬式発電機2台寄贈 高橋会長「防災活動に役立てて」

(社)秋田県LPガス協会は社会貢献事業の一環で日本赤十字社秋田県支部に可搬式LPガス発電機(1.5kVA)2台を贈った。8月25日に秋田市の県社会福祉会館で贈呈式を行い、協会から高橋弘隆会長、船木和昭専務理事らが出席。日赤秋田県支部は保坂学事務局長が臨席した。

高橋会長は「東日本大震災以降、災害に強いLPガスが取り上げられ、LPガス発電機の導入も進んでいる。防災活動に役立ててほしい」と目録を手渡し、保坂事務局長は「今後は計画的に各支部でもLPガス発電機を配備したい」と謝意を示した。

協会は今年度から積極的に社会貢献活動に取り組み、7月には秋田県地域婦人団体連絡協議会に炊き出し用資機材を寄贈している。



保坂事務局長(左)に目録を手渡す高橋会長

ハタリキは創業100周年で100万円寄付 畠山社長「地域社会の発展に貢献」

今年で創業100周年を迎えるハタリキ(秋田県鹿角市)も日本赤十字社秋田県支部に100万円を寄付し、8月25日に秋田市・県福祉会館で贈呈式を行った。

畠山佑介社長は「平時・有事に活躍している日赤へ寄付を申し出た。今後も地域社会の発展に貢献したい」と述べた。保坂学・日赤秋田県支部事務局長は「ハタリキは地



贈呈式に臨む畠山社長(右)と保坂事務局長

域のクリーンアップなど様々な社会貢献活動に尽力されている。寄付金は苦しんでいる人、困っている人を救うため大切にに使わせていただく」と感謝の意を伝えた。

ハタリキは1921年10月の創業。54年5月に県第一号の販売許可を取得している。

KHK、講習会・検定試験の料金改定

高圧ガス保安協会は10月1日から講習会受講料と検定試験受検料を見直す。コロナ禍による受講者の減少、会場確保・感染対策の経費増などが改定理由で、1,000~6,000円程度値上がりしている。

10月からの改定料金

*法定義務講習

	講習会名	書面申請	電子申請
一般ガス関係	甲種化学・甲種機械	29,600	29,000
	乙種化学・乙種機械	25,400	24,900
	丙種化学特別	25,400	24,900
	試験則四条第3項の適用を受けるものの受講料	10,100	10,100
	一種販売主任者	17,200	16,700
	保安企画推進員・保安主任者*	17,000	16,500
	保安係員(一般)*	12,800	12,300
	特定高圧ガス取扱主任者	14,600	14,600
	高圧ガス移動監視者	15,800	15,800
	液化石油ガス関係	丙種化学液石	25,400
試験則四条第3項の適用を受けるものの受講料		10,100	10,100
二種販売主任者		17,200	16,700
保安係員(LP)*		12,800	12,300
業務主任者の代理		17,200	17,200
設備士第2・第3(筆記)		15,800	15,800
設備士第2・第3(技能)		19,700	19,700
設備士特別		3,390	3,390
特定高圧ガス取扱主任者(LP)		14,600	14,600
高圧ガス移動監視者		15,800	15,800
保安業務員		15,100	15,100
調査員		8,430	8,430
充填作業(免有)		14,200	14,200
充填作業(免無)		17,800	17,800
充填作業(実習)		31,900	31,900
業務主任者		5,600	5,600
液化石油ガス設備士再*		5,800	5,800
充填作業再*	8,940	8,940	
ポリエチレン管(免無)	14,600	14,600	
ポリエチレン管(免有)	12,500	12,500	
配管用フレキ管(免無)	40,600	40,600	
配管用フレキ管(免有)	36,300	36,300	
冷凍関係	第一種冷凍機械	29,600	29,000
	第二種冷凍機械	25,400	24,900
	第三種冷凍機械	20,000	19,500

日協、第48回LPガス保安講演会 スマート保安に向けた取組状況等



寺内氏

日本LPガス協会は3日と10日、第48回「LPガス保安に関する講演会」をWeb開催した。対象はLPガスの生産・輸入基地、二次基地、充填所、オートスタンド、工業用消費者の関係者など。寺内純子・経済産業省高圧ガス保安室室長補佐は「高圧ガス保安行政～スマート保安を中心に」で、昨年6月に設置されたスマート保安官民協議会等について説明。向殿政男・明治大学名誉教授は「安全確保の在り方を考える～人間、ハード、組織の三面から」の演題で講義した。

〔講演概要〕〈高圧ガス保安行政〉▷高圧ガス事故：2020年は541件(前年比▲107件)で半数以上が冷凍事業所。事故発生約9割が噴出・漏洩▷昨年7月のスマート保安官民協議会・高圧ガス保安部会で、スマート保安の実現に向けたアクションプランを策定。導入に向けた制度

見直し、事業者への組織変革等を提示▷新技術(ドローン・AI)の活用等〈安全確保の在り方を考える〉▷安全確保の役割：技術、人間、制度・組織▷情報公開、透明性、リスクコミュニケーションの重要性一等

千葉県協が事業継続 Web セミナー 女性視点のマーケティング学ぶ

(社)千葉県LPガス協会は9日、Webセミナーを開き「女性視点のマーケティング」を学んだ。講師は日野佳恵子・(株)ハー・ストーリー代表取締役。

セミナーは▷消費者に快適な住空間を提案するにはどうするか▷男性と女性で購買思考はどう違うのか▷女性客への提案方法はーなどが内容。協会は20年後の業界をイメージし、2019年に「千葉県LPガロードマップ(ライフパートナーへの道)を作成。これまで事業継続を基本に「ネット環境の確立」と「LPガス広報宣伝活動強化」を実施している。セミナーもこうした流れの一環。

We Support Safety

ガス検グループ

高圧ガスプラントの安全と安心を
追求する技術集団



経済産業大臣指定 指定保安検査機関
<https://gasken.co.jp>



経済産業大臣指定 指定保安検査機関
<http://chubu.gasken.co.jp>



経済産業大臣指定 指定保安検査機関
<http://saftec.gasken.co.jp>